



川本 高広 × 山分ネルソン祥興

18歳の時に単身マレーシアから来日し、苦学の末に医師免許を取得した山分ネルソン祥興さんは、産婦人科「希咲クリニック」を営む一方、女性の医療相談を受け付ける「ネルソンメディカルカフェ」を定期的に開催している。このカフェでは、さまざまな趣向と交流を通じて悩みの多い女性たちの「次の一歩」を後押ししている。ネルソン医師と、川本高広が対談し、女性がイキイキする場の必要性やアイデアについて語り合った。

女性の「次の一歩」後押し

定期的にメディカルカフェ開催

川本 ネルソン先生のカフェにスタッフと参加させていただきましたが、いろいろな学びを得られる場で、すごく女性が輝いていました。このイベントを始めたきっかけは何だったんですか。

ネルソン このメディカルカフェは2016年から始めました。もう17回開催していますね。きっかけは一人の患者さんで、元はモデルの選手でした。10年前、帝王切開手術をした経験がある方で、好きなヨガをして、好きな教室の先生に「手術で筋肉を切ったから、スポーツを控えない」と言われたように、僕は「それは違う」と、説明したんです。

それを丁寧に説明すると「今までは何だったんだ」と。これを聞いた時に「ネットをはじめ、情報が氾濫している中、本当に正しい情報を伝えなければ」と思い、その患者さん

と相談しながら、女性を集めて医療相談を受けるメディカルカフェを開催しました。

川本 先生のメディカルカフェ、医療相談だけでなく、女子会というか、本当に女性が主役で楽しめる時間になるよう工夫されてますね。ゲストの講演会もそうですが、参加者がモデルになるファッションショーとか、参加者の3分間スピーチとか。おもしろい取り組みだなと感じました。

ネルソン もちろん真面目な医療の話も正しく伝えたいということがあります。女子力を高めたり、自分を磨いたり、旦那さんをも一度惚れ直させたり、そんな会にしていきたいと考えて、会の開催を重ねて広がった縁で、「アホなこと」をやっています。参加者がモデルになるファッションショーなんか、みんな「いや、わたしは…」とか、「主人に聞いてみないと」とや「子どもがいるし」なんて、それぞれ消極的ですが、モデル当日は堂々としたもんです。着物ドレスの衣装など

をまとい、イキイキと歩かれます。「女性特有のこの病気に気を付けてください」なんて誰も聞きませんよ。健康とか綺麗になるとか、それのついでに医療を学んでもらう。でもこれに参加するには大義名分が家族に必要だったりするわけですね。ファッションショーに行くなんて言えない。だからこそそのメディカルカフェなんです。

川本 なるほど。いろいろな悩みがあるそんな女性の背中を押し上げるというか、そういう場を作ることが大切なんですね。ネルソン そうです。背中を押してあげる、そんな場を作ってあげる。そうすることで日ごろの悩みやストレス、葛藤から解放される時間ができるんだと思います。

シングルマザーや貧困、男女関係のもつれ、DVをはじめ、いろいろな事情があり、生きること悩んでいた女性に、このメディカルカフェへ来てもらったことがあるんですよ。僕は賭けのつもりで半ば強制的に連れてもらいました。「この外の世界は広いんだよ」というのを見せたくて。来てくれた女性は笑顔になってくれて、そこから自分でカウンセリングの資格を取って、今は元気いっぱい生きておられます。気分転換の大切さ、そういうのが本場に大事ななと僕も感じました。短時間だけでも自由な自分の時間を作らないといけないと思います。

川本 ぜひ奈良でも先生のメディカルカフェを開催してもらいたいですね。わたしの関わっている子どもの障害者福祉の分野でも、保護者が疲れるケースが多々あります。自分も障害を持つお子さんだけを見るのではなく、そういった保護者、お母さんのケアをしたいと企画を練っています。

障害を持つお母さん同士のコミュニケーションってあるんですが、それが外になるとなかなか難しい。お母さんたちが交流を通じてイキイキと楽しめる一日、そういうものが欲しいなと思います。

ネルソン 僕でよかったらいつでも奈良に呼んでください。たくさん女性の笑顔と一緒に作れたなら、こんなに楽しいことはありません。

川本 今後ぜひよろしくお願ひします。今日はありがとうございました。

山分ネルソン祥興(やまわけねるそんよしおき) 18歳の時、両親が工面してくれた日本行きの特等チケットで単身来日し、アルバイトで生計と学費を稼ぎながら、北海道大学薬学部を卒業。その後、大阪大学医学部卒業し、大阪市立豊中病院勤務。研修医賞を受賞。その後、希咲クリニックを設立。医療相談、セミナーだけでなく、さまざまな趣向を凝らしたネルソンメディカルカフェを定期的に開催し、女性の笑顔を作ることに日々奔走している。

希咲クリニック
〒532-0023
大阪府大阪市淀川区十三東2丁目7-8
エルディ十三東駅前ビル3階
TEL 06-6476-7233 FAX 06-6476-7232
E-mail info@kisaki-clinic.jp

創刊したカワモトプレジャーグループの広報誌「プレジャーニュース」は、毎回、さまざまな分野で活躍のゲストと川本高広が対談し、生きるためのヒントや学びを利用者、保護者の皆さんと共有しようとするものです。また施設のお知らせやニュースもお届けしていきます。

障がいをもつお子さまから成人の方を対象に、集団生活・社会生活に適切できるよう適切な指導と自立に向けた支援をおこないます。将来的には、就労支援・生活介護・ショートステイ・グループホームと展開し、地域での生活を目指し、トータル的な相談窓口として皆さまをサポートしてきます。

適切な指導と自立に向けた支援が充実



放課後等デイサービス



生活介護事業

げんき倶楽部



居宅介護支援事業

桜寿

おうじゅ



相談支援事業

みらい